

基本的な組み方

8Z-スパイラル (8本取り方向らせん模様)

色の組み方

—— イ色
—— 口色

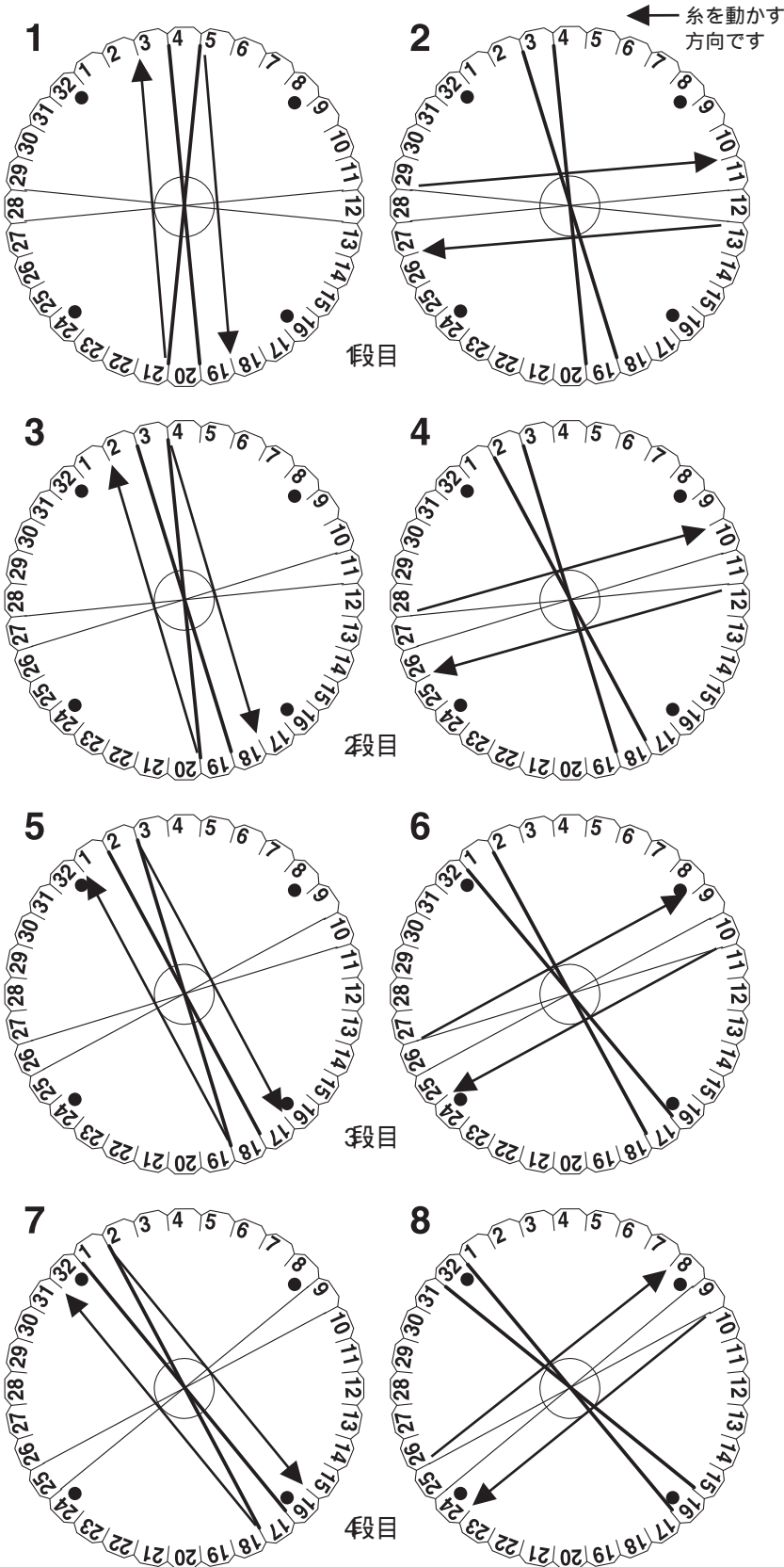


図10のように色を4 5 20 21のスリットに、もう色を12 13 28 29のスリットにはさみます。(これは真向かいのスリットであれば、どこでもけっこうです)

組む作業

8Zスパイラルの糸の動きは、向こう側の糸が手前右に来て、手前左の糸が向こう側左に行きます。簡単に右が来て左が行くと覚えておきましょう。縦方向が組めたらカードを持ち替え、横方向を組みます。

左の図は 段目から4段目の組み方です。段目の動かし方を番号で表示すると次のようになります。

段目の糸の動き

- (1) 5 19 / 30の糸をスリットからはずし、19のスリットに持っていく。
- (2) 21 3 / 21の糸をスリットからはずし、30のスリットに持っていく。
- (3) 29 11 / 29の糸をスリットからはずし、10のスリットに持っていく。
- (4) 13 27 / 13の糸をスリットからはずし、27のスリットに持っていく。

次の段からは番号が毎段一つずつずれます。どこを組んでいるかわからないときは、最後に組んだ方ではない方を「右が来て左が行く」と動かします。

糸端の始末の仕方

作品を組んでいる時は、縮んでいますので、作品の始めの部分を持ってひもを引っぱって伸ばし、目を揃えます。作品に必要な長さになったら、ディスクから外し、組み終わりを他の糸できっちり結びます。作品に合わせてパーツをとりつけて仕上げます。

色も糸の動かし方は同じです。